
令和8年度スポーツ推進事業計画について

【1 スポーツ×健幸】

ライフステージを通じて、年齢や能力に関わらず、日々の運動習慣により心身ともに健康で生き生きと暮らせるまちを目指す。

1-1 こどものスポーツ機会の充実**(1) こどもの運動習慣の定着**

○親子ふれあい体育教室

期日等	令和8年5月～令和9年2月 計8回
会 場	磐田市総合体育館・アミューズ豊田 外
対 象	①幼稚園・保育園・こども園 年中・年長児と保護者、 ②小学校1・2年生 児童と保護者
参加者	計100組
内 容	集団の中で協力し合い、子どもが自ら進んで運動できるように、親子運動を中心とした教室を開催。

○サッカー体験（ジュビロ磐田）

期日等	令和8年4月～12月
会 場	上大之郷グラウンド 外
対 象	年長児
参加園	市内幼稚園、保育園、こども園のうち実施を希望する園
内 容	ジュビロ磐田普及スタッフの指導のもとドリブルやミニゲームを楽しむサッカー体験を実施。

○ラグビー体験（静岡ブルーレヴズ）

期日等	令和8年6月～令和9年2月
会 場	園庭、学校グラウンド 外
対 象	年長児、児童、生徒
参加数	市内幼稚園、保育園、こども園のうち実施を希望する園
内 容	静岡ブルーレヴズ普及スタッフの協力を得て、園児などを対象にラグビー体験を実施。

○地域おこし協力隊（スポーツを通じた地域活性化）の委嘱【新規】

令和8年度スポーツ推進事業計画について

(2) こどもの可能性を引き出すスポーツ環境の推進

○マルチスポーツ体験会【新規】

期日等	年4回開催
会 場	磐田市総合体育館 外
対 象	小学生・中学生
内 容	令和7年度に小学5・6年生を対象としたアンケート結果で上位に入ったスポーツ・運動の中から様々なスポーツに親しむ機会を提供する。

○全国大会出場者への支援

地区予選を勝ち抜き全国大会へ出場を決めた選手、チームへ支援を行う。

○部活動の地域展開（SP0☆CUL IWATA）の推進

庁内の関係課と連携を図りながら移行を推進する。

1-2 スポーツによる健康づくり

(1) スポーツ参加の促進

○いわたスポレク健康フェスティバル

期 日	令和8年10月
会 場	かぶと塚公園
内 容	誰もが参加できるスポーツイベントとして実施。体力測定、トランポリン等、様々なスポーツ体験を実施。市民相互の親睦と健康増進を図る。

○成人を対象とした運動教室の開催

○小学生トランポリン体験会の開催

○ニュースポーツやパラスポーツ体験会の開催

モルック、ボッチャなど誰でも取り組めるスポーツを普及する。

○地域おこし協力隊（スポーツを通じた地域活性化）の委嘱【再掲】

(2) スポーツによる健康寿命の延伸

○磐田市スポーツ推進委員による講師派遣事業

市内各団体からの依頼に対し、スポーツ推進委員を講師として派遣する「講師派遣事業」を年間を通じて実施。

○ウォーキングマップを活用した運動意識向上への啓発【新規】

令和8年度スポーツ推進事業計画について

【2 スポーツ×共創】

スポーツを地域資源として捉え、地域企業や団体などと共創し、スポーツの力で新たな価値を生み出す革新を目指す。

2-1 スポーツの力を活用した新たな価値の創造

(1) スポーツによる地域課題の解決

○いわたスポーツプラットフォーム

期 日	年6回開催
会 場	磐田商工会議所 外
会員数	86団体（令和8年2月末時点）
内 容	スポーツの持つ力を生かし地域課題、社会課題の解決に取り組むことにより、「スポーツ」を核にしたまちづくりを実施。

○地域おこし協力隊（スポーツ産業マッチング人材）の委嘱【新規】

○スポーツのまちづくりの推進

御厨駅周辺において、「スポーツ」を中心のコンテンツとして、まちづくりの検討を進める。

(2) 地域資源のスポーツへの活用

○楽La歩（ららぽ）ウォーク

期 日	年2回開催
会 場	ららぽーと磐田
内 容	日常生活の中に運動習慣を取り入れ、スポーツを身近に感じてもらうきっかけとなるようららぽーと磐田と協力して開催。

○デジタル技術を活用したまちづくり【新規】

スポーツチームや公共施設の指定管理者と協働し、市内回遊を促進する。

令和8年度スポーツ推進事業計画について

【3 スポーツ×感動】

スポーツの持つ魅力を最大限に活用し、地域に感動と活気をもたらすまちを目指す。

3-1 スポーツによる魅力発信(1) スポーツを通じた賑わいの創出

○ジュビロ磐田メモリアルマラソン

大会開催に向けた支援を行い、全国から集まる大会参加者に磐田の魅力を発信する。

○ダンスイベントの開催

(2) スポーツによる交流人口の拡大

○スポーツツーリズムの推進【新規】

観光分野と連携し、市の魅力発信と交流人口増加による地域経済の活性化を図る。

○大会・合宿の誘致

市外から多くの競技者・観戦者が訪れる大会等の誘致に取り組む。

3-2 プロスポーツチームを活かしたまちづくりの推進(1) ホームタウン活動の深化・拡大

○ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業

期日等	令和8年4月25日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内小学校5年生・6年生ほか
内 容	同年代の子どもたちが一堂に会し、ジュビロ磐田の試合を観戦することで、子どもたちがスポーツに関心をもつきっかけを作るとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。

令和8年度スポーツ推進事業計画について

○静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦事業

期日等	日程調整中
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内中学校2年生ほか
内 容	同年代の子どもたちが一堂に会し、静岡ブルーレヴズの試合を観戦することで、子どもたちがスポーツに関心をもつきっかけを作るとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。

○ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズ・静岡SSU ボニータの小中学生との交流事業

○地域一体型応援文化の醸成

ホーム&ホストタウンとしての意識向上のため、チームを紹介する展示や掲示など街全体を装飾するシティドレッシングを実施。

○スポーツチームの観戦招待事業の実施

○シンポジウムの開催

「ホームタウン」をテーマにしたシンポジウムを開催し、市民・事業者・行政が共創してスポーツのまち磐田を盛り上げ、地域の誇りを育む機運を醸成する。

(2) アスリートと連携した取組の推進

○アスリートと連携した運動教室・体験会の実施

○マルチスポーツ体験会の開催【再掲】

○本市ゆかりの選手、チームの活躍を発信

本市出身選手の活躍を市 SNS 等で広く周知する。

令和8年度スポーツ推進事業計画について

【4 スポーツ×共生】

年齢・性別・国籍・障がいの有無に関わらず、すべての市民がスポーツを通じてつながり合える社会や環境づくりを目指す。

4-1 スポーツを通じた共生社会の実現(1) だれもがスポーツに親しめる機会の提供

○発達支援親子のびのびスポーツ教室

期 日	令和8年8月～令和8年11月 計4回 予定
会 場	福田屋内スポーツセンター 外
対 象	市内小学校の特別支援学級に通う児童と保護者 特別支援学校に通う磐田市在住の児童と保護者
内 容	参加者が楽しく体を動かすことが体験できるように工夫をして実施する。令和5年度から連続教室として開催。

○みんなの運動会 in IWATA

期 日	令和8年11月1日 予定
会 場	磐田市総合体育館
内 容	年齢や障がいの有無に関係なく、だれもが楽しみながら競い合える運動会として実施。

○パラ・デフアスリートによる講演会や体験会の実施

○ニュースポーツやパラスポーツ体験会の開催【再掲】

○ウォーキングフットボール体験会の実施

(2) 人と人をつなぐスポーツ推進

○ウォーキングフットボール大会

期 日	年2回開催
会 場	磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ
内 容	こどもから高齢者まで幅広い世代がともに楽しむことができるスポーツイベントとして実施。

○磐田市スポーツ推進委員による講師派遣事業【再掲】

令和8年度スポーツ推進事業計画について

4-2 スポーツに親しめる環境づくり

(1) スポーツに関わる人材の確保と育成

○ペップトーク講座

期 日	令和8年9月5日
会 場	竜洋なぎの木会館
内 容	教員やスポーツチームの指導者を対象に、自分や相手のモチベーションを高めるポジティブな言葉かけである「ペップトーク」を学ぶ講座を開催する。

○スポーツ推進委員への研修の実施

市民スポーツのコーディネーターとしてスポーツ推進委員の人材育成に取り組む。

(2) スポーツ施設の利用促進

○スポーツ施設の再編整備

快適なスポーツ環境を持続可能なものとするため、老朽化が進むスポーツ施設の再編整備について検討していく。

○スポーツ施設への空調設備導入

空調設備を計画的に設置し、利用者の快適なスポーツ環境を確保するとともに、指定避難所としての環境改善を図る。

○公共施設予約システムやキャッシュレス決済、スマートロックの充実

○各スポーツ施設事業の情報発信

公式ホームページやSNSなどを活用し、スポーツに関する情報提供の充実を図る。

○修繕計画の策定と適正な実施

○指定管理制度を導入した施設の管理運営